

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



タメトモユリ
Tametomoyuri

【定点把握疾患】2025年 第32週 (8月4日~8月10日)

八丈島 A群溶血レンサ球菌咽頭炎 1件、
COVID-19 13件

青ヶ島 感染性胃腸炎 1件



ストレチア
Strelitzia

COVID-19が八丈町で増加していますので、今一度、感染予防を心がけましょう。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第31週 (7月28日~8月3日)

・31週:新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、4.45と増加傾向です。

ひとくち感染症情報 『梅毒』

①梅毒はどんな病気でしょうか？

- ・梅毒トレポネーマという細菌によって引き起こされる感染症です。
- ・発症すると性器や肛門、口にしこりができたり、全身に発疹(ほっしん)が現れたりしますが、一旦症状が消えるため治ったと間違われることがあります。しかし、梅毒は自然治癒しないため、早期に発見し、治療する必要があります。
- ・治療せずに放置すると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、HIV感染症との合併が問題となっています。
- ・妊娠中に梅毒に感染すると、胎児が感染してしまうことがあります。胎児が感染すると、死産、早産、新生児死亡、障害をもって生まれることがあります(先天梅毒)。

②どのくらい増えているか？

- ・梅毒は2021年に年間2000件を超え、2022年~2024年の直近3年間は3500件を上回る報告数となっています。2025年は6月末時点で1700件を超えています。
- ・男女比は2:1で、男性は30代、女性は20代が最も多く、先天梅毒も報告されています。

③どうやってうつるのか？

- ・性行為により、病原体を含む精液、膣分泌液、血液などに触れることで、粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。
- ・妊娠中に感染すると母子感染することがあります。
- ・治療をしても、再感染します。

QRコード



詳しい内容は
「東京都性感染症ナビ」
をご覧ください。

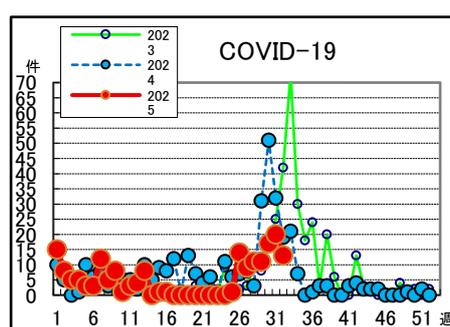
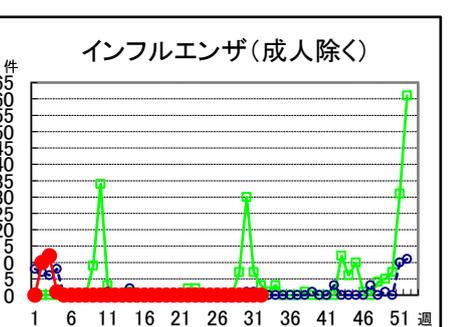
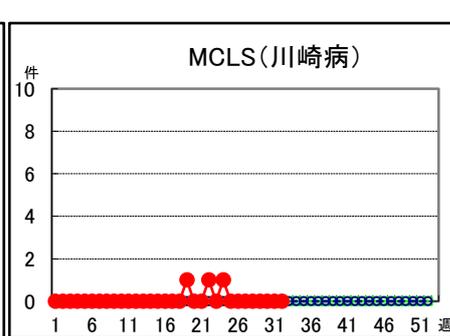
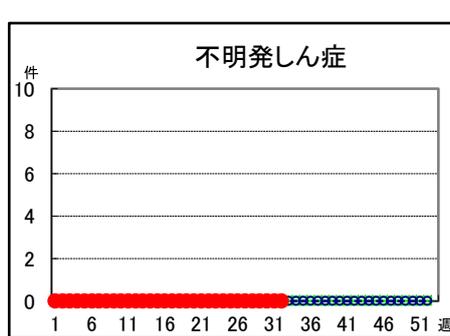
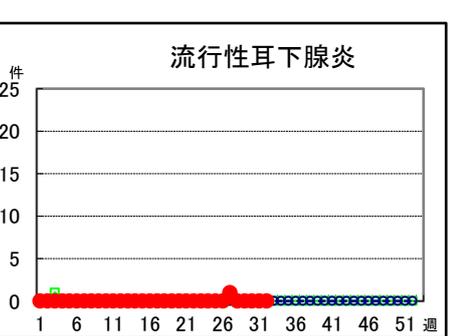
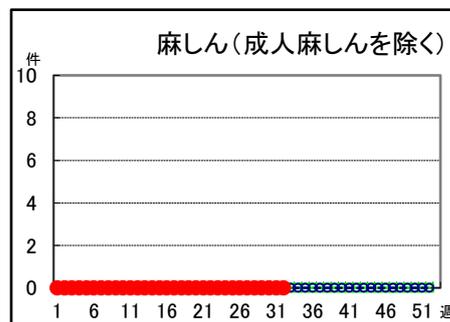
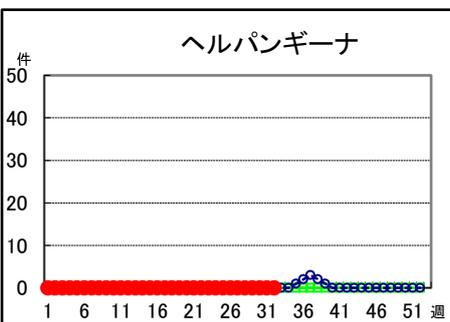
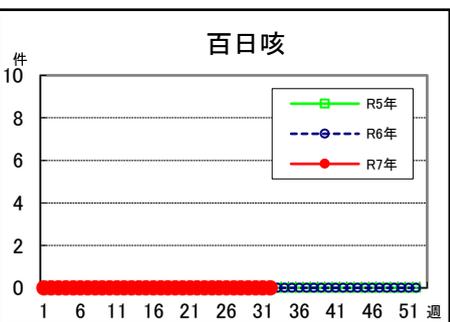
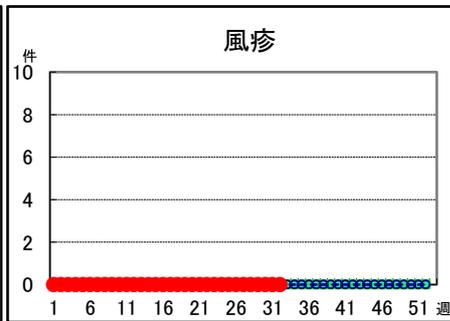
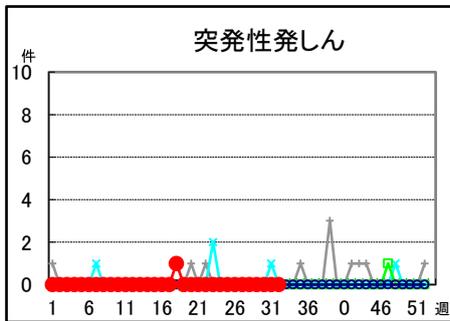
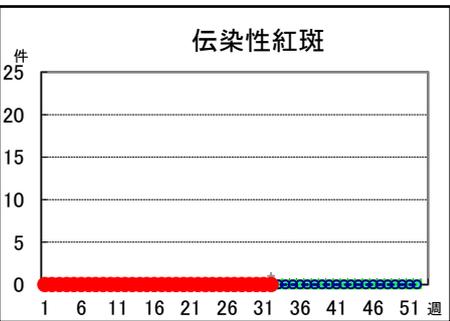
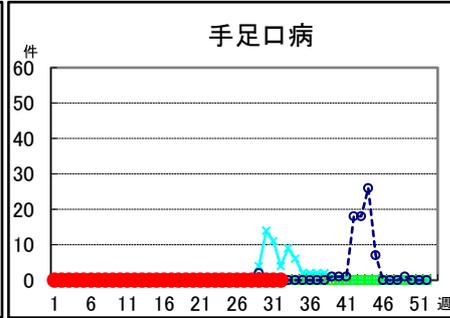
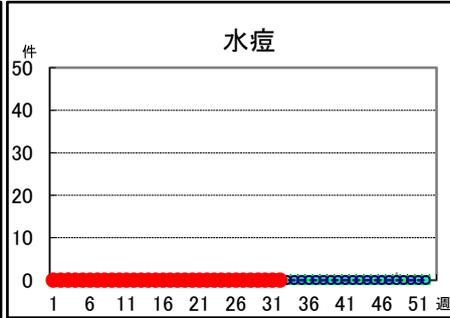
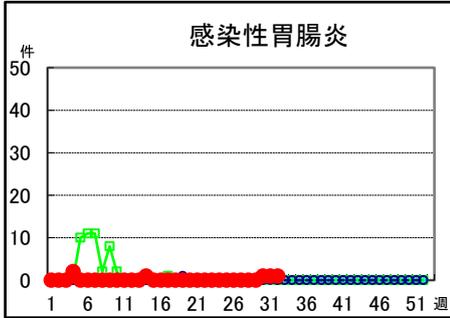
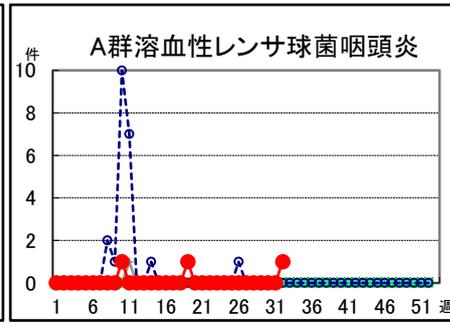
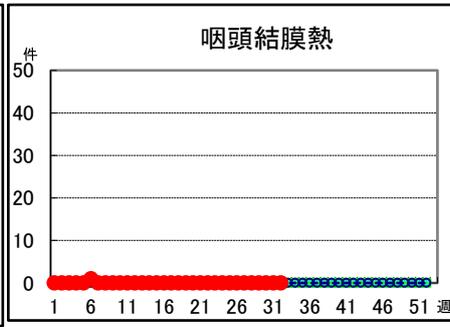
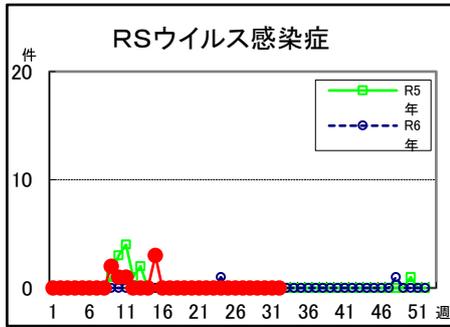
④どうやって防ぐの？

- ・性行為の際にコンドームを正しく使うことが有効です。
- ・心配な時には検査を受けましょう。
症状がある時: 医療機関で検査を受け、感染が分かれば早期に治療しましょう。
無症状の時: 都内保健所等で、匿名・無料(HIV検査と同時)検査を実施しています。

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都(全域) ⇒ Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>
- 全国⇒ 国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
 島しょ保健所 八丈出張所
 電話:04996-2-1291
 FAX:04996-2-0632